

アトピー性皮膚炎治療研究会第19回シンポジウムプログラム

8：55—9：00 開会の辞

会頭 秀道広

9：00—10：05

ワークショップ1 「アトピー性皮膚炎治療におけるガイドラインの役割」

司会：秀道広（広島大学皮膚科）

キーノートレクチャー：竹原和彦（金沢大学皮膚科）

10：10—11：00

特別講演1 「ステロイド薬の作用機序」

演者 平澤典保（東北大学大学院薬学研究科 生活習慣病治療薬学分野）

座長：岩月啓氏（岡山大学皮膚科）

11：00—12：05

ワークショップ2 「ステロイド外用薬をどう使うか？」

司会：戸倉新樹（浜松医科大学皮膚科）

キーノートレクチャー：片岡葉子（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科）

12：10—12：40

ランチョンセミナー

「Atopic dermatitis in China: challenge in diagnosis and treatment」

Professor Jianzhong Zhang

(Department of Dermatology, Peking University People's Hospital, Beijing, China)

座長：古江増隆（九州大学皮膚科）、秀道広（広島大学）

共催：株式会社ミノファーゲン製薬

12：40—13：10

一般(ポスター)演題討論・休憩

13：10—14：00

特別講演2 「アトピー性皮膚炎と汗アレルギー」

演者 平郡隆明（広島大学皮膚科）

座長：片山一朗（大阪大学皮膚科）

14：00—15：05

ワークショップ3 「アトピー性皮膚炎の長期予後」

司会：塩原哲夫（杏林大学皮膚科）

キーノートレクチャー：片桐一元（獨協医科大学皮膚科）